

西風



題字：初代教頭 久保 豊先生



校訓

自立・連帯・創造

〈校章の由来〉

高松西高の西(WEST)の頭文字である“W”3つを重ねて、力強くはばたく翼によって、西高の輝かしい未来への飛翔を象徴したものである。

また3つの“W”は、生徒・教師・父母三者の堅い結束のもとに

“Wisdom through Work and Will”
(強い意志とたゆまぬ勉学を通して英知を磨く)という校風樹立の誓いをあらわしたものである。校章デザイン 土岐 孝氏
(昭和51年11月1日制定)

校歌

- 一、学舎に 風は流れて
常磐なる 松の緑よ
たくまじき生命はぐくむ
若人の 願い切なり
ああ西高
自立の鐘をつよく鳴らせ
- 二、清らかに 陽光さしいで
仰ぎ見る 青垣山よ
悔いのなき今日を生きんと
若人の 声はこだます
ああ西高
連帯の輪を かたく結べ
- 三、大いなる 希望の丘に
そびえたつ われらが母校
新しき時代を拓く
若人の 瞳澄みたり
ああ西高
創造の火を 明かく燃やせ

目次

- 「西風会は人が基本」 西風会会長 上村幸司 ①
- 「西高の将来像」 校長 杉岡保之 ②
- 「保護者から見た西高の将来像」
高松西高PTA会長 大内泰雄 ③
- 薫風 〳 恩師からのたより〳 ④
- 特集 〳 母校訪問・西高生夫婦に聞く〳 ⑥
- ももたろうだより 〳 近況報告〳 ⑩
- 西方見聞録 〳 西高からのたより〳 ⑬
- かぜだより 〳 同窓会からのたより〳 ⑮

「西風会は人が基本」



西風会会長

上村 幸司

(3期)

この原稿を仕上げている時、丁度多国籍軍が対イラク砲撃を開始した。1991年は湾岸情勢が世界の政治・経済にまで大きく波及しそうな幕開けですが皆様はいかがお過ごしでしょうか。西風会の為にいつもお力添えを下さっている会員の方と母校の現・旧職員の皆様、同窓会係の多田先生(五期)、PTA・地元の方々はこの場をお借りいたしました。改めましてお礼申し上げます。お蔭様で当会も十一周年を迎え、三月には十二期生を迎えました、この「西風」も第二号を発刊することができました。どうか今後とも変わらぬご指導の程、宜しくお願い申し上げます。

さて二号は「将来を見つめて」がテーマですので、いささかビジネス調の堅い挨拶になってしまった創刊号の「西風会の現状」を反省し、今回は私自身が会長をつとめさせていただいた約七年間を改めて振り返り痛感した「組織は人なり」について述べてみたいと思います。1991とアラビア数字で書けば丁度お互いが支え合い左右対称となっている「人」と共通しておりますので。たまたま地元での家業の關係で氏家俊雄初代会長(一期)より役職を頂戴し、暗中模索の中ここまで運営してこられたのは様々な人に支えられたからはいうまでもありませんが、その出合いが大変不思議なご縁です。香川支部長・小柳雅俊さん(一期)、会計・弾正原紀之さん(二期)、また先輩の友人である山下省吾さん(一期)の存知の通り「西風」創刊号の作成委員長です。同期の明石享久君は今回の作

成に非常にご協力いただきました。ずっとなんで安藤祥二君(十期)、谷本新吾君(十期)は総会、盆躍りを無事終えてくれました。勿論他にも是非ともご紹介したい先生・一期く十一期までの同窓生が多数おられることはいうまでもありませんが、同期以外は皆さん、人の紹介や、道で立話をして知り合えた方、クラス代議員にたまたま選出された方ばかりです。人の巡り合わせは不思議なものです。

このように、熱心な人達がまた更に熱心な人を紹介して下さい、在中は全く知る筈のない十年も離れた人達が出会う。それも若い同窓生の集まりである当会であるからこそできる事であり、醍醐味といえましょう。このご縁を大切に、また更に様々な人達と出会い、もっともっと西風会を盛り上げてゆきたいと思えます。

「オタク」という言葉に象徴されるように個人の生活を楽しむ風潮になってきており、人と人のつながりを持つチャンスは大変少なくなってきました。確かに他からの干渉を受けたくない時もあると思います。しかしまたゆとりがでてきたらどうぞ西風会の小さな活動からご参加下さい。五千人規模の組織ですので母校在学中には会うことのできなかつた先生、先輩、後輩達から学生・社会人の立場で知識・考えを吸収することが出来ます。

なにぶんまだやっと一回りの十二年目、一人でも多くの参加により存続させて下さい。西風会は「人が基本」です。

皆様の今後のご活躍と母校の発展をお祈り申し上げます。

「西高の将来像」

校長

杉岡保之

春先から夏にかけて、ここかしこから絶え間なく聞こえてきていた鶯や雉の鳴声もいつしか聞こえなくなり、いまは山麓の松の緑のなかに点在する紅葉も深まり、校庭には山茶花が一面に咲き誇っています。

四季折々の自然の移り変りとともに、毎年四月にはフレッシュな新一年生を迎え、三月にはこの美しい自然環境の中で三年間学習やスポーツに打ち込み、友情を育んできた仲間が卒業していきます。今年も本校も創立十四年、卒業生数もこの三月でほぼ五千人に達します。いま学校では、来年の創立十五周年に向けてささやかな記念事業の企画をすすめております。その一は記念誌の発行で、すでに先生方による編集委員会も発足し編集に取りかかっており、また、例年十一月に催している創立記念芸術鑑賞会を来年は十一月二十七日に、ハンガリーから「HUNGARIAN VIRTUOSI Chamber Orchestra」を県民ホールに迎えて開催する運びになりました。西風会会員の皆さんにも色々な形で記念事業に、ぜひご参加、ご後援いただきたいと思います。

十五年といえ、丁度今年入学してくる新一年生が生まれた年に当たるわけです。創立以来の本校が、周囲の人々の暖かいご支援と先輩諸姉のねばり強い努力によって大学進学のみならず県下でトップを競う実績を収め、部活動でも六十一年の野球部甲子園出場、本年度のバスケット部の全国総体出場など輝かしい成果を収めるまでに成長してきました。いまでは、生徒・教師・父母の三者の固い結束のもとに「強い意志とた

ゆまぬ勉学を通して英知を磨く」西高精神が、校庭の木々とともに大きな伝統として力強く根付いています。

二十一世紀を目前にして、いま、世界は激しく変動し世界戦争と厳しい冷戦構造に縛られていた二十世紀は終焉し、人類は平和と安定、共存と連帯の新しい国際秩序へ大きく転換しつつあります。こうしたなかで、わが国も第三の開国ともいえる新たな国際化時代を迎え、情報化・高度技術化・高齢化・高学歴化等経済・社会のあらゆる面で急速な変化が進んでいます。

これからの高校教育では、これらの変化に主体的に対応できるとともに、豊かな国際性を身につけた個性的で心身ともにたくましい人材を育てていかなければなりません。本校ではこれまでも進学校として、国立大学等優れた大学への進学を目標に学力向上に努め同時に恵まれた環境の中で部活動に打ち込むいわゆる「文武両道」をモットーに教師・生徒が一丸となってその基礎をきずいてきましたが、これからは、自ら学び、自ら鍛える意欲と能力を伸ばし、国際人としての資質を涵養し国際社会で活躍できる人材の育成をめざしてまいりたいと思っております。このため施設の面では先生と生徒が寝食をとるに学習したり、運動部などの合宿ができるセミナー・ハウス、部活やクラブ活動が一齐にできる第二体育館の建設が大きな課題です。また、現在も来ていただいている外国青年の英語指導助手のほか、外国人を招いて講演会や芸術鑑賞会を催したり、外国の高校と姉妹校縁組を結ぶなど国際交流活動を積極的にすすめていきたいと考えています。幸い、今後生徒の減少期に入ります。本校創立のときに考えられた一学年八学級、全体で二十四学級の適正規模になるのももうすぐです。ゆとりの教室を活かして、よりきめの細かい多様な教育活動を通じて優れた人材を育てる、魅力的で个性的な西高づくりをめざして頑張ってまいりたいと考えています。

「保護者から見た西高の将来像」

高松西高PTA会長

大内 泰 雄

西風会会員の皆様、西高を卒業されて、大学に、あるいは実社会においてご活躍のこととお慶び申し上げます。

今年も、四百六十九名の者が皆様の後を追って、西高の学窓を巣立っていかうとしております。いろいろの場面でお世話になり、また、ご面倒をおかけすることになると存じますが、どうかよろしくお引き廻し願いたいと思っております。親から見ましても、まだまだ至らぬところの多い未熟者でございますがよろしくお願い致します。

私もから見まして、西高は伝統的な清新の気風をもった学風で、先生方の学校に寄せる熱意のもとに、まことによくいきとどいた訓育を受けた三年間であったと考えております。子供達も、非常に明るくほがらかで、男女の仲も和気あいあいとしており、他校と比べても決してひけをとらない学生らしい気品と真面目さを身につけていると考えております。それだけでなく、部活動においても、野球部が夏の大会では試合ごとに力をつけて、あれよあれよというまに決勝戦まで勝ち進んでくれ、また、バスケット部は強豪高松商業を破って全国大会へ進出するなど、陸上部、音楽部、演劇部をはじめとして、進学校としては珍しく各所で気を吐いてくれました。こうした活躍が、西高生を奪い立たせるのに大きく貢献してくれたし、母校に誇りをもって巣立っていく原動力となってくれたと信じております。

保護者から見た西高の将来像ですが、西高の将来は西高の歴史がなく

ては成り立たないし、西高の将来がなくて西高の歴史というものも成り立たないでありましょう。卒業生の築いた伝統や切り拓いた道が、西高の将来をさし示すことになると思えます。

西高生は地元香川大学に進学する者が多く、さらに地元の教育界や官庁においても勢力をなしつつありますが、これからの社会は、競争より、調和が重んじられるであります。全国へ、世界へ、大いに雄飛していただくのも結構です。と同時に、地元を目を向け、古くからの伝統文化の良さを掘りおこし、足元の社会を住み良く豊かで魅力あるものにしていくことが、どれほど大切であろうかを痛感しております。

先だって、大分県で「一村一品主義運動」ということを行っていることを読みました。地域おこしを支えるものは、地元で寄せる愛情と職人氣質であることを、その運動は教えてくれます。大量生産、使い捨ての時代は過ぎて、やがて手仕事が見直され、輝きを持つ時代になるでしょう。

西高の手仕事ともいえるきめのこまかな教育が、地元にとどのような魅力ある人脈を築くことか、期待されるところであります。

薫風

〜 恩師からのたより 〜

思い出

久保 豊

昭和55年3月に、高松西高第一回卒業生を送ったあと、私自身も他校に転じました。論語に、「吾十有五而志学。三十而立。」とありますが、第一回卒業生の皆さんは、もう而立の年を迎えます。一方、高松西高は創立15周年ということで、記念の行事を考えているようです。みんなで植えた山ももの木も年輪を重ねたのだなあと感慨を覚えます。でも、高松西高のことは、まだまだ昨日のことにように私の心の中で新鮮です。

昭和51年4月に、県立高校新設準備室が設置され、私はその一員となりました。後に初代校長となる井沢先生と私と、事務職員が3人という陣容でした。鬼無町のある丘はまだ、赤っ茶けた山肌の土砂採取場に過ぎなかった。しかし、翌年4月の開校はきめられており、何から手をつけたらよいか、不安いっぱいの出発でした。その年の11月1日に、香川県議会で、高松西高という校名とともに学校設置が正式に承認され、塩井、西村両先生が新たにスタッフになりました。強力な助っ人の参加です。さらに、翌年の2月に、松橋、笹岑、大貫、谷本、中井、堤、溝川各先生方が、そして、3月には秋山、上原、川田、高崎、豊嶋、今西、

三嶋先生その他の方たちが加わり、数は多くありませんが強力極まりないチームワークにより粒々辛苦の末、開校にこぎつけることができました。西山会長、松村副会長はじめ、初代のPTAの役員の方々の献身的なバックアップも忘れることができません。ゼロからの出発ですが、すばらしい学校を創るという気持で燃えていました。建築工事の推進、教育課程の策定、中学校への呼びかけ等、なすべきことは限りなく多く、思い出も数々あります。例えば校章の制作のこと。私の敬愛する土岐先生にデザインをお願いしました。一度できあがったのですが、もうひとつ落ちつきません。本心に心苦しかったのですが、先生は快くやり直して下さいました。先生のお心がとても嬉しかったです。こうして、西W E S TのWを基本にしたデザインができあがりました。羽のように上方に広がる逆三角形の校章は、シャープで優雅だと思いました。Wを3つ重ねてあるのもよいと思いました。教師、生徒、父母の三者を現わしていると思えました。さらに、私は英語の辞書からWのつく語を抜き出しました。WOLF, WIL, WISDOMという語にしばらくしました。これらをつけて、校章の由来にしあげていきました。ひとつひとつ手作りです。ユニークな55分授業は、塩井先生のアイデアを練りあげたものです。屋島宿泊学習の構想は西村先生から出てきたものでした。

私は昨年、平成2年3月末日で、定年により退職しました。40年にわたる教員生活でした。しかし、40年という長い教員生活の中でも、はじめて経験した高松西高での思い出は鮮烈です。そして、高松西高の歩

む姿を私はいつも人ごとではなく見ています。多くの方々の力によって、りっぱに自立した姿を誇りに思っています。私の時の高松西高は当然誰も先輩などいません。先頭を歩む者としての誇りと同時にいっばいの不安でした。こうして年輪を加え、多くの同窓先輩にも恵まれました。みんなで力をあわせて、高松西高のいっそうの発展をめざしてほしいものです。「ああ西高、自立の鐘を強く鳴らせ」「連帯の輪を固く結べ」「創造の火を明かく燃やせ」これが私の願いです。

銭谷 禎 人

いろんな所で、西高出身という人に会います。懐かしく思います。どの人も立派に活躍されています。うれしく思います。はやいものですね、今年が西高創立十五周年ですか。卒業生の皆さんの、今後一層の活躍と、西高の増々の発展を願っています。

細見 良 一

昭和61年3月、高松西高甲子園出場までは野球部長として、ノックバットでガンガン打ちまわり、罵詈雑言を浴びせ、授業では細見より嫌味かと自ら疑った万年熱血青年も、今や、白髪の方が数本多くなったと悲し

み、シニアグラスが手離せなくなり、生徒には優しいポーズの愛想笑いで接し、地理屋稼業を続けている。今冬は南欧を巡ってきた。以上、近況報告。



体 育 祭

特集

～ 母校訪問・西高生夫婦に聞く ～

母校訪問

今回、卒業されて、一度も西高を訪れたことのない会員の方もいらっしゃるかと思いますので、西高がどう変わったか、2人の会員の方に代表して、実際に訪問していただきました。

訪問者プロフィール

川地保弘さん（1期）

在学中ハンドボール部所属、酒豪？。

卒業後二年目に来て以来の訪問。高松市香西本町在住、独身。

黒川 礼さん（7期）

自他ともに認める美貌。卒業後一年目に来て以来の訪問。

国分寺町在住、独身。

聞き手 明石（3期）

（文中 敬称略）

聞き手 本日は大変お忙しい中、わざわざ来て戴いてありがとうございます。います。

さっそくですが、第一印象はいかがでしたか。

川地 あんまり変わってなかったなあ。いや、僕の頃は無かった校舎があった。

黒川 正門を入れてすぐのところに、私の頃はなかった庭園がありました。

川地 そうそう、ただアスファルト敷きでバスの回転場だった。

聞き手 他はどうでしたか。

黒川 全体に、広々として、静かで緑に囲まれていて、こんなに気持ちがいいところは、在学中わかりませんでした。食堂前で

川地さんの背中にテントウムシが止まったときは、やっぱり西高は環境がいい（笑）と再確認しました。

川地 でも、田中牛乳が、まだあるとはなあ。

僕は一期生だったので、入学した頃はまだブルがなくて食堂の屋上にできるという噂で、みんな信じていました。

聞き手 本当ですか。でも工事にかかったときには、わかったでしょう。

川地 いや、完成するまでは信じていました。（笑）

聞き手 ところで、お二人は通学はどうしていましたか。

川地 自転車です。

黒川 私はJRで鬼無駅まで来て、そこからは歩いていました。今日も同じようにして来ましたが、思っていたほど長くなかったです。在学中はもっと遠くに感じていました。

聞き手 川地さんは、もちろん自転車で来られましたね。

川地 自転車で来ようと思ったんですが、最後の坂で、パテそうだったので、やっぱり単車にしました。それにしても、この学校は坂と階段ばかりだ。

黒川 校内を廻るだけで、あしたは、足が痛くなりそうです。特に、上のグラウンド（西運動場）には、もう行きたくないです。

川地

僕らの頃は上のグラウンドは、もっと高かったような気がします。それに二段になっていて、上の段がテニスコートで僕らハンドボール部は下の段で練習をしていました。

聞き手

そうですね。それでは、校舎内はいかがでしたか。

川地

別にどうってことはなかったです。よく覚えてなくて。(笑)

黒川

私は、なんだか高校生にもどったみたいでした。でも生徒は、男子もそうですけど、みんなかわいらしいですね。私も年をとったのかしら。

聞き手

けっして、そんなことはないです。生徒の方が、ちょっと若すぎるだけですから。

川地

うん、そうだ。

聞き手

先生方にもお会いしましたね。

黒川

はい。楠原先生と丸山先生です。とても、なつかしく、お話をさせていただきました。

川地

僕は知っている先生がほとんどいませんでした。ただ、黒川さんの評判はとても良かったです。

黒川

.....

聞き手

そうですね。それでは最後に、一言お願いします。

川地

はい、西高に来たら、初心に戻れたような気がします。

黒川

たまには、母校を訪れるのもいいですね。

聞き手

今日は、本当にありがとうございました。



川地さん・黒川さん（本館屋上にて）

西高生夫婦に聞く

西高の卒業生が出て十余年の間に、幸せなカップルが次々と誕生しています。しかも高校の時のご縁が結婚というさらに大きなご縁となった西高生同志のカップル。その中の何組かの夫婦に登場願ひ、おめでとうの言葉を贈ります。

質問事項

- ① いつ結婚しましたか。
- ② 二人のなれそめは
- ③ プロポーズの言葉
 - ― 1、どちらから
 - ― 2、どういう言葉
 - ― 3、その答え
- ④ 在学中は相手のことをどう思っていましたか。
 - ― 1、夫は妻のことを
 - ― 2、妻は夫のことを
- ⑤ 二人の思い出の場所はどこですか。
 - ― 1、いつごろ
 - ― 2、思い出の場所

夫 山地 英二（1回生）
妻 山地 靖子（1回生）

旧姓：十川
高松市在住

- ① 昭和58年5月22日
- ② 1年7組で席が、となりになった。
- ③ 全部、ないしょです。
- ④ 1、変な奴
― 2、すごい人
特にありません。
- ⑤ （過去の話は我家では秘です。）

夫 小妻 雅也（1回生）
妻 小妻 幸代（3回生）

旧姓：竹本
高松市在住

- ① 昭和63年11月6日
- ② 職場がいっしょだった。
- ③ 1、夫から
- ― 2、結婚するか？
- ― 3、うん。
- ④ 1、知らない。
- ― 2、全く知らなかった。
- ⑤ 1、1、（コメントなし）
― 2、長崎オランダ村



夫 大瀧 清 (2 回生)
妻 大瀧 雅己 (2 回生) 旧姓：大西

愛知県尾張旭市在住

- ① 昭和63年11月5日
② 高校1年の時の同級生。大学時代の、お正月に偶然、高松の商店街で再会？つき合い始めた。

③ 1-1、夫

1-2、(もったいないなくて教えられない)
1-3、(即答で、)「うん」

④ 1-1、真面目な子

1-2、いい人だけど、とっつきにくいヤツ

⑤ 1-1、大学時代
1-2、横浜

夫 白井 更司 (3 回生)
妻 白井 美加 (4 回生) 旧姓：八十川

高松市在住

- ① 平成3年2月10日
② お見合いで初めて会った時、お互いに西高生であった事が発覚しました。
③ 1-1、私(夫)から言う様に仕掛けられました。(妻は戦略家です)。
1-2、3回目のデートの時、妻を家まで送っていく途中、車の中で「僕と一緒にいたいだけじゃないか。」
1-3、すかさず、「私でよかったです。」



④

(今になって思えば複雑な気持ちです。お互いに…。)
1-1、恩師(数学科 八十川先生)の娘が、この学校に来てい
るという事ぐらいしか知りませんでした。(今になって思
えば、もっと知っておればと…)。

⑤

1-2、生徒会のカリアゲ頭の怖いおじさん”
1-1、昨年の初秋のころ
1-2、二人でデイナータイムを過
ごした後、西高までドライブ
しました。夜の西高から高松
の街の灯を見おろしながら、
当時の思い出を語り合い、二
人でこれからの人生を歩んで
行こうと誓い合ったのでした。
(今になって思えば複雑な気
持ちはです。お互いに…)。

カップルの皆さん どうぞ末長くお幸せに。

なお、皆様からの情報をお待ち
しております。



ももたろうだより

近況報告

洋上研修に同行して

浅田 和伸

(1期)

去る7月21日から31日までの11日間、文部省が新任教員を対象に実施している初任者研修の洋上研修(平成二年度第一団)に同行する機会を与えられました。第一団には、東京都、奈良、和歌山、鳥取、岡山、山口、香川、沖縄の各県と横浜、京都、大阪の各市の新任教員四三一名が研修生として参加しました。運航経路は、まず東京から太平洋を北上し、釧路、新潟に寄港した後、瀬戸内海を通過して再び東京に戻るというものでした。

私は今回の洋上研修をとて楽しんでしていました。それは、(ろくに冷房のきかない役所で深夜まで仕事をしているよりは、ずっと明るい生活を送れるだろうと考えたこともありですが、)自分が教育行政の仕事をしているにもかかわらず、最近の学校現場について知る機会が非常に少なく、これじゃあいかんと思っていたからです。できれば研修の期間中に先生方と仲良くなって、本音で話し合えるようになれば、と思っています。しかし、実際には、運営部総務係チーフとしての仕事予想以上に忙しく(睡眠時間は毎日3時間程度)、残念ながら、先生方とゆっくり話す機会はほとんど得られませんでした。

さて、11日間同じ船の上で過ごした新任教員の先生方についての私の

印象は、ごく大雑把に言えば次のようなものでした。

(一) ほんの数か月前まで学生だった人が多いので無理もないのですが、まだ社会人としての自覚が足りない人がいます。例えば、集合時間が守れない、落し物が多い、食事時のマナーがなっていない、というようなことで、これには最初、正直言ってがっかりしました。

(二) けれども、さすがに数ある職業の中から教員の道を選んだだけのことではあって、やる時はやります。研修のプログラムの中には、あるテーマについてチームごとに討論を行い、その結果を発表し合う「研究発表会」というのがあるのですが、そのディカッションは本当に真剣そのもので、かなり激しいやりとりをしている光景も何度か見ました。また、発表会もレベルの高いものだったと思います。

というように、怒ったり感激したりと気持ちも忙しく揺れ動く日々でしたが、最後にはやはり先生方と別れ難い気持ちになりました。先生方を見送った後、片付けを終えて船から降りた時などは、心に穴が開いたような寂しさでした。

研修が終わってから、何人もの先生方から手紙をいただきました。できることなら、これを機会に、本音で話ができるような付き合いをお願いしたいと思っています。

今回は、西高の先生はいらっしゃいませんでしたが、西高OBの方は何人かおられました。高校野球の香川大会で西高が勝ち進んでいることは知っていたので、優勝したら(職権濫用ですが)みんなを集めて祝勝会をやるかと密かに計画を練っていたのですが、決勝の日、新潟での視

察を終えて船に戻り急いで電話で問い合わせたところ、「丸亀に負けた」という信じられない結果にしばし呆然としてしまいました。西高OBの先生を招集して、丸高OBの先生方に夜襲をかけようかと思ったりです。とにかく惜しかった。残念でした。

私としては、厳しい上司に懇願して、来年もぜひ洋上研修に行かせて貰いたいと思っています。西高の卒業生には先生になる人も多いと聞いています。もしかしたら来年、船と一緒にいるかも知れませんね。その時は必ず声をかけて下さい。お酒ならいくらでも付き合います。

最後に、今年の船で一緒だった先生方を始め西高OBの先生方、これからも子どもたちのために頑張ってください。そして、機会があれば、学校や子どもたちのことなど何でも聞かせて下さい。私も、少しでも自分の理想を施策に反映することができるよう努力していく積もりです。

(文部省勤務)

近況報告

吉田 祐治

(5期)

私たち五回生が高松西高に入学したのが、今からちょうど十年前。十年ひと昔とはよく言ったもので、意識の上では高校時代なんて、ついこの間のことと思っはいるものの、不鮮明になりつつある記憶の数々が、月日の流れを教えてくれる。

十年前、十五歳のかわいらしいにきび面の少女だった私たちも、

みな二十五歳のおじんにおばん。かつての同級生と顔を会わせると必ず出るのが、「俺たちも四捨五入すれば、もう三十路かよ・・・」という言葉。四捨五入することに何の意味があるかはわからないが、昔は人生五十年なんて言っていたのだから、二十五歳はまさに人生の折り返し地点だ。さすがに平均寿命はのびたとはいえ、この年齢が人生にとって大きなターニングポイントであると考えている者も少なくないはず。

特に女性の場合(あまり一般論でくりたくはないが)、二十五歳までに結婚したいという願望があるらしく、この二、三年は、誰それが結婚したの、するのといった話題には事欠かなかった。男の友人もすでに幾人かは結婚し、この正月はその新婚家庭を何件か訪問することとなった。

ところが、その一方で、まだ親のすねをかじり(失礼)、学生をしている友人もおり、このアンバランスに少々戸惑いも覚える。なんせ十年前はみな、高松西高校の一年生というまったく同じスタートラインに立っていたはずの私たちが、十年たった現在、実にさまざまな場所と立場でそれぞれの生活を送っている。日本全国、それこそ北は北海道から南は沖縄にいたるまで、いや、もしかすると世界のあちこちに散らばった同窓生が、今どこで、どんな生活をしているのか想像することは実に楽しい。

東京という大きな都市の片隅の小さな出版社のデスクの上で、ワープロのキーを叩いていると、いろんな同窓生の顔が浮かんでくる。意外とすぐ隣のビルでかつてのクラスメートの誰かが働いていたり、同じ電車の同じ車両の端と端にかつての恋人が乗り合わせたりしているのかもしれない。懐かしむのはまだ早い。しかし、私たちを結びつけている糸がもつれ、切れてしまう前に、もう一度お互いの姿を確認しておきたい。そんな気持ちに筆をとらせた。

今、思うこと

高野 郁子

(8期)

西高を卒業して4年が過ぎた。夏は自然に汗が流れ、冬はとてつもなく寒いあの西高坂や、白いヘルメット姿の自転車通学生達、スリッパを履いてパタパタ走った廊下に、快挙の甲子園出場時のみんなの笑顔。まだまだ忘れていないのに、月日は過ぎるものである。

ぬるま湯ではあるけれど、4年間、大学という小さな社会の中で、高校時代までとは違った自由を手にし、私はそれをどこまで有効に活かしてこれただろう。無駄にした時間の大きさは、どれくらいのものだろう。大学生活をふりかえると、そんなことを思うが、一言、楽しかったという事実は忘れない。

今年、いよいよ社会に出て、世間の荒波にもまれ、新しいことも体験していくと思うが、焦らず頑張っていきたい。先に社会に出た友達の様子は、大きな励みになるだろう。

これが、今の心境である。



大学での生活

井手 宏明

(10期)

一年浪人の末、やっと入った大学での生活は、すでに九ヶ月がすぎてしまいました。しかしこの九ヶ月の間、一度も「充実感」というものを味わってはおりません。毎日は常に面白く、何の不満もありません。しかし、高校生のとき、特に受験のときの「充実感」そして「緊張感」というものは、合格発表の日になくなったままです。

ところで今、これを書いているのは、センター試験の3日前の一月九日です。今日、午前中、思い出したように、昨年自分が受けたセンター試験を取り出してきて、英語を今一度解いてみると、昨年の自分に驚き、また現在の自分に、情けなさを感じてしまいました。まあ、現在の無気力の自分には当然なのでしょうが、一度覚え、身につけた物が、半年や一年でなくなってしまうことに、ふがいなさまで覚えてしまいました。

毎日の大学生活は成績さえ除けば、いたって順調です。いい友達にも恵まれましたし、(特に、合コンをよく開いてくれる点では)毎日起こることも、新鮮で楽しいです。しかし専門に入ってから(僕は医学部なのですが)解剖のことを考えると毎日頭が痛い思いです。というのは、私は全く血がだめなのです。ひよっとすると私は日本一医者に向いていないのではないかとも思うようにもなりました。またカリキュラムのきつさをきくたびにぞっとしますし、こなしていくだけの自信もありません。しかし、まあ、これから6年、何とかなるでしょうし、自分の中の意識の変化もおこるでしょう。それに期待しつつ、挨拶の言葉とかえさせていただきます。

高松西高サッカー部 OB会、OB戦について

嶋村 太伸

(1期)

今年も正月三日午後一時より、高松西高グラウンドで、正月恒例の西高サッカー部OB戦が開かれました。当日は、第一期から第十一期までのOBたち、二十五名あまりが集まり、現役サッカー部との交流試合、二試合を行いました。第一試合は、二年生主体のベストメンバーと対戦し惜敗、第二試合は、一年生主体のチームと対戦し大勝でした。

OBチームの方は卒業期を越えての混成でチームを構成し交流を深めました。社会人、大学のサッカーチームでがんばっているOB。また、仕事や学業の都合でサッカーから離れているOBたちなど様々ですが、そこは昔のサッカー部の面々。高校時代よりハードなプレーや華麗な技、コンビプレー、またまた珍プレーも飛び出し、感嘆と笑いの中で交流試合を終えました。試合にはOBだけでなくOBの彼女や子どもたちも応援にかけつけ、一段と盛り上がったOB戦でした。

現在、西高サッカー部OB会は、正月のOB戦を恒例として行っていますが、早くOB会の組織を整え、会員名簿の作成、またOBチームの結成(できれば県リーグへの加盟を)、現役チームのサポート等を行っていきたくと考えています。

なおOB会についての問い合わせがありましたら左記までご連絡ください。

〒兵二 高松市円座町一六〇一―一五

嶋村 太伸 Ⅷ〇八七八―八六一三二〇八



「メッセージ」： ～ 会員からのたより ～

ご案内ありがとうございます。退職後は、5才と2才の2人の孫(男)にふりまわされながら、元気に過ごしております。来客があり出席できず残念です。皆様にどうぞおよろしくお伝え下さいませ。

旧職員・H

岡大大学院Drコース1年になり、ますます親のスネをかじっています。

1期・K

できれば同期会をやってほしいナー……。

1期・T

西風、なつかしく読ませていただきました。また楽しみにしています。

1期・K (T)

④ 第2号がようやくできました。

お世話様になっております。中国駐在を命ぜられまして1年半になります。まだまだ2年半ございますのでよろしくお願いいたします。

2期・T

昭和62年に結婚し、平成2年長女誕生。

2期・U

⑤ おめでとうございます。

“仕事”と“子育て”にがんばっています。忙しいけれどとても充実しています。西高時代のように……。

3期・K (I)

近々に帰高家業継ぐ予定。

4期・U

昨年、名前の誤りを訂正してくださるよう、お願いのハガキを出しましたのに、今年も間違いのまま送付されました。不愉快です。名簿で確かめて、今度こそ、正しい名前をお願い。

5期・I

⑥ 大変申し訳ございません。正確な名簿を作るためにも、誤りはピシ訂正して下さい。

住所&姓が変わりましたので……おそくなったけどハガキでした。頑張ってください。

6期・O (S)

「西風」を読み、高校時代を思い出し懐しくなりました。今年から社会人一年生として奮闘しております。

7期・M

就職活動で多忙のため参加できませんが、役員の方、頑張ってくださいね。

8期・Y

◎今頃、社会人として、頑張っておられることでしょうか。

帰省が遅くなり連絡がきましたが、年会費を納入いたしました。

9期・E

会計 あなたのような会員が西風会を支えているのです。

元気か！転動でいまは両親は松山。オレはクラブで今年は夏休みが盆しなくてたまらん。んじゃあの〜。

11期・S

元気です！

11期・A

体育会重量挙部に入部させていただきました。…たいへん忙しい。

11期・H

暑い中、皆様のお世話ありがとうございます。7/21より、自動車教習所に通っておりますので、次回はぜひ参加する予定です。

11期・Y

◎免許は、一回で取れたのでしょうか。

総会出欠ハガキより抜粋させて頂きました。これからも、みなさまからのメッセージをお待ちしております。



昼 休 み

平成2年度 学 校 行 事

	行 事	1 年	2 年	3 年
4 月	6(金) 始業式 7(土) 入学式 12(木)～18(木) 西高交通安全週間	7(土) 入学式 10(火) オリエンテーション 11(水) " " 12(木) 課題テスト (3科) 13(金) 心電図検査 27(木) 内科検診	6(金) 始業式 12(木) 課題テスト (3科) 26(木) 内科検診	6(金) 始業式 12(木) 課題テスト 13(金) (5科)
5 月	1(火) PTA役員会 1(火)～2(水) 西高交通安全週間 中旬 PTA総会 学級懇談会 中間考査	7(月)～12(土) 屋島宿泊学習	9(木)～12(土) 修学旅行	9(木) 第1回校外模試 10(金) (記述式5科) 11(金) 遠足 17(木) 内科検診
6 月	1(金)～7(木) 西高交通安全週間 1(金) 県総体開会式 2(土)～4(月) 県総体 16(土)～18(月) 四国総体	22(金) 第1回校内実力 テスト(3科)	22(金) 第1回校内実力 テスト(3科)	9(土) 第2回校外模試 10(日) (マーク式5科) 22(金) 第1回校内模試 23(土) 第1回公務員模試
7 月	2(月)～7(土) 西高交通安全週間 6(金)～10(火) 期末考査 16(月)17(火) クラスマッチ 20(金) 終業式	15(日) 第1回校外実力 テスト (国・数・英 3科) 21(土)～27(金) 夏期講座	15(日) 第1回校外実力 テスト (国・数・英 3科) 21(土)～27(金) 夏期講座	14(土)～15(日) 第3回校外模試 (記述式5科) 20(金) 第2回公務員模試 21(土)～31(火) 夏期講座
8 月	1(木)～8(水) 全国総体 (宮城県他)	21(火)～24(金) 夏期講座 29(木) 第2回校内実力テスト (国・数・英 3科)	21(火)～24(金) 夏期講座 29(木)30(金) 第2回校内実力テスト(5科)	20(月)～28(火) 夏期講座 29(水)30(木) 第2回校内模試
9 月	1(土) 始業式 1(金)～7(木) 西高交通安全週間 13(木)～15(土) 西高祭 13(木) 体育祭 14(金) 文化祭(非公開) 15(土) 文化祭(公開) 17(日) 振替休日			1(土) 第3回公務員模試 8(日)9(日) 第4回校外模試 (記述式5科) 中旬 一般企業入社試験 30(日) 国家公務員試験
10 月	1(月)～6(土) 西高交通安全週間 5(金) 遠足 22(月)～25(木) 中間考査	中旬 進路適性検査		3(火)4(水) 第3回校内模試 6(土) 第2回小論文模試 13(土)14(日) 第5回校外模試 (記述式5科) 中旬 県職員試験 15(月)～26(金) 大学入試センター試験出願

	行 事	1 年	2 年	3 年
11 月	1(木) 開校記念日 1(木)～7(木) 西高交通安全週間 中旬 ホームルーム週間	4(日) 第2回校内実力テスト (国・数・英 3科) 15(木) 第3回校内実力テスト (国・数・英 3科) 下旬 教育課程説明会 コース選択説明会	4(日) 第2回校外実力テスト (国・数・英 3科) 16(金) 第3回校内実力テスト (国・数・英・社(理) 4科) 下旬 教育課程説明会	3(金)4(日) 第6回校外模試 (記述式5科) 9(金)10(土) 第4回校内模試 24(土)25(日) 第7回校外模試 (マーク5科)
12 月	1(金)～6(木) 西高交通安全週間 7(金)～11(火) 期末考査 18(火) 防火訓練 22(土) 終業式			25(火)～27(木) 冬期問題演習 25(火)～27(木) 保護者懇談会
1 月	8(火) 始業式 9(木)～14(日) 西高交通安全週間 10(木) 第2回コース選択予備調査 26(土)～2月1(金) 生活時間調査	9(木) 第4回実力テスト (国・数・英・理 4科) 20(日) 第3回校外実力テスト (進研・記述) 21(月)、23(木) 保護者懇談会 28(日) コース選択決定	9(木)～10(木) 第4回校内実力テスト (国・数・英・理・社5科) 20(日) 第3回校外実力テスト (進研・記述3科) 21(月)～23(木) 保護者懇談会 28(日) コース選択決定	4(金)～5(土) 直前対策模試 12(土)～13(日) 大学入試センター試験 14(月) センター試験自己採点 22(火)～25(金) 保護者懇談会 22(火)～31(木) 国公立大2次出願 29(火)～30(水) 卒業試験
2 月	1(金)～7(木) 西高交通安全週間 21(木) 進路志望調査(1,2年) 27(木)～3月2(金) 学年末考査		17(日) 第4回校外実力テスト (進研・マーク3科)	小論文指導 就職内定者教養講座 (講話・電話・OA・書道等) 中旬・錬成テスト 25(月)～ A・前期日程2次試験
3 月	上旬 クラスマッチ 8(金) 卒業式 13(木)～14(木) 高校入試 中旬 身体計測 19(火) 終業式 20(木) 高校入試合格発表	下旬 春期講座		5(火)～B・日程2次試験 12(火) 後期日程2次試験

部・同好会の活躍状況

平成元年度

運動部

- 陸上 部
 (男) 県総体800m 2位・110m H 2位・1500m 2位、四国総体110m H 3位・800m 6位、新人大会1年1500m 1位・2年100m 1位・400m R 1位・1600m R 1位・400m 3位・三段跳 2位・走幅跳 3位
 (女) 県総体総合 4位・100m 2位・200m 3位・400m 3位・800m 3位・400m R 3位、四国総体400m 3位・やり投 4位
- 剣道 部 近県剣道大会 3位
- 水泳 部
 (男) 県総体100m 自由形 1位・200m バタフライ 2位、四国高校選手権200m バタフライ 2位、国体県予選200m バタフライ 1位・100m バタフライ 2位・50m 自由形 2位・100m 背泳 3位、新人大会200m バタフライ 2位・100m バタフライ 3位
 (女) 県総体100m 背泳 2位・400m 個人メドレー 3位、国体県予選100m 自由形 2位・200m 個人メドレー 2位・100m 自由形 3位・100m 背泳 3位、新人大会200m 個人メドレー 2位・100m 背泳 3位・200m 背泳 3位・400m R 3位
- バドミントン部 学校対抗 2位
- ハンドボール部
 学校対抗 3位 (男) 国体県予選 2位
 (女) 国体県予選 3位
- アーチェリー部
 県高校選手権学校対抗 1位・個人(男女) 1・2・3位
- テニス 部 県ジュニア選手権 2位

文化部

- 合唱 部
 NHK 全国学校音楽コンクール香川県大会 優秀校、全日本合唱コンクール香川県大会 金賞、四国合唱コンクール四国大会金賞
- 吹奏楽 部
 全日本吹奏楽コンクール香川県大会銀賞、県管打楽器アンサンブルコンテスト 金管八重奏金賞
- 放送 部
 香川県高校放送新人コンテスト アナウンス部門入選
- 書道 部
 毎日書道学会展毎日新聞奨励賞、全日本教育書道展天籟賞・東雲会賞、四国女子大書道展特選
- 演劇同好会
 香川県高校総合文化祭演劇公演優良賞



部・同好会の活躍状況

平成2年度

運動部

- 県総体学校対抗総合
(男)7位
(女)11位
- バスケットボール部
(男)県総体優勝→12名がインターハイ出場
- 陸上部
(男)・県総体学校対抗準優勝、トラックの部優勝、110mH 1位 島山晋一、400m R 1位 (県高校新)、やり投 1位、200m 3位、3段跳 3位、四国総体学校対抗 5位、トラックの部 4位、110mH 1位、400m R 1位、やり投 3位、200m 4位→7名がインターハイ出場
・県新人大会トラックの部 3位、800m 1位、100m 2位、5000m 2位、400m R 3位
・国体最終予選少年A 110mH 1位→国体へ出場
・県選手権 110mH 2位、3段跳 3位
・四国選手権 110mH 2位
(女)・全国高校駅伝県予選 4位
- 水泳部
(男)・県総体 100mバタ 2位、200mバタ 2位
・国体予選少年A 100mバタ 2位、200mバタ 2位、200m背 3位、少年B 50m自 3位、100m平 3位
・県新人大会 200mバタ 1位、100mバタ 3位、100m背 3位
(女)・県総体学校対抗 4位、100m平 1位 三木雅代、200m平 1位、400m個混 2位
・四国総体 100m平 1位、200m平 1位→インターハイ出場
・国体予選少年A 200m個混 2位、100m自 2位、200mバタ 3位、少年B 100m平 1位→国体へ出場、400m自 1位、100m自 3位
・県新人大会 100m平 1位 (県新、県高校新) 200m平 1位、200m自 3位、400m自 3位、400m個混 3位、400m混 R 3位
- アーチェリー部
(男)県選手権団体 1位、国体四国ブロック大会個人 2位→インターハイへ 4名、国体へ 2名出場
・岡山県新人大会ハーフの部 1位、50m距離賞、30m距離賞
(女)県選手権団体 1位、国体四国ブロック大会団体 1位、個人 1位、2位→インターハイへ 4名、国体へ 3名出場

- 野球部
全国高校野球香川県大会 準優勝
- ハンドボール部
(男)県総体 3位、国体予選 3位、選抜大会県予選 2位、県新人大会 2位
(女)県総体 4位、選抜大会県予選 3位、県新人大会 3位、県総合選手権大会 3位
- サッカー部
県総体 3位
- バドミントン部
(女)県総体 3位、県新人大会 4位
- 剣道部
(男)県段別選手権 2段の部 2位、県新人大会 3位
(女) " 2段の部 2位
- 硬式テニス
(女)県新人大会シングルス 3位

文化部

- コーラス部
NHK全国学校コンクール香川県大会銀賞、全日本合唱コンクール香川県大会金賞、四国合唱コンクール四国大会銀賞
- 吹奏学部
全日本吹奏楽コンクール香川県大会銀賞、全日本アンサンブルコンテスト香川県大会銀賞 (金管八重奏)
- 書道部
全国高校書道展四国女子大学学長賞特選、全日本教育書道展覧会東雲会長奨励賞特選
- 放送部
香川県高校放送コンテストアナウンス部門入選、朗読部門 3位、NHK杯全国高校放送コンテスト朗読部門入選、香川県高等学校総合文化祭放送部門発表会アナウンス部門奨励賞、朗読部門奨励賞、高校新人放送コンテストアナウンス部門 2位、3位
- 演劇同好会
香川県高等学校総合文化祭演劇部門公演会優秀賞
- 将棋同好会
全国高等学校将棋竜王戦香川県大会個人戦 3位

進路状況

(イ) 進学状況

①大学種別合格者数() 過年度内数

区 分	2年	元年	63年	62年	61年	60年	59年	58年	57年	56年	55年
国立大学	199 (57)	243 (89)	259 (91)	264 (74)	185 (52)	183 (72)	181 (69)	180 (50)	141 (38)	133 (35)	64
公立大学	20 (9)	37 (17)	29 (14)	22 (9)	23 (19)	35 (24)	29 (17)	15 (4)	12 (5)	25 (6)	8
私立大学	523 (195)	418 (191)	408 (173)	482 (208)	400 (189)	397 (170)	420 (214)	438 (143)	460 (192)	478 (172)	226
国公立短期大学	9 (3)	17 (6)	16 (5)	13 (5)	7 (2)	6 (2)	9 (3)	8 (2)	7 (1)	5 (1)	6
私立短期大学	92 (15)	74 (4)	89 (5)	98 (9)	97 (3)	68 (7)	84 (8)	90 (2)	71 (3)	73 (2)	35
各種学校等	20 (4)	30 (3)	28 (4)	47 (8)	29 (9)	34 (4)	34 (7)	32 (1)	21 (3)	14 (1)	14
計	863 (283)	819 (310)	829 (292)	926 (313)	741 (274)	723 (279)	757 (318)	763 (202)	712 (242)	728 (217)	353

②平成2年3月卒業生学部別進学状況(除各種学校)

学部	学部																			その他	計		
	文	人文・教養	外国語	法	経営・商	経	社	国	理	工	農	水	医	薬	歯	栄養・保健	商	家	教			体	芸
性別	学部	学部	学部	学部	学部	学部	学部	学部	学部	学部	学部	学部	学部	学部	学部	学部	学部	学部	学部	学部	学部	他	
男	1	1	2	13	27	19	3	0	2	43	8	0	0	1	2	0	0	0	6	1	1	0	130
女	39	5	11	6	18	2	2	0	4	1	4	0	1	0	1	3	0	7	44	3	0	1	152
計	40	6	13	19	45	21	5	0	6	44	12	0	1	1	3	3	0	7	50	4	1	1	282

③大学別合格状況

国立大学

() 過年度内数

大学名	合格者数				
	2年	元年	63年	62年	55-61年
北海道大			3(3)	2(1)	3(3)
室蘭工業大				1	2(1)
帯広畜産大	1			1	
岩手大	1			1(1)	
宮城教育大				1(1)	
東北大		1(1)	1(1)	1(1)	5(3)
秋田大				1	2
茨城大		2(2)	2		5(1)
筑波大	3	2	4	4(2)	25(6)
宇都宮大	2(1)	2(1)	1(1)		3(1)
群馬大			2(1)	1	
埼玉大	1	2(1)		1	8(3)
千葉大	1(1)	1	1(1)	4(2)	5
電気通信大	4(3)	3(2)	1(1)	2(2)	4(3)
東京医科歯科大			1(1)		
東京農工大	1	2(2)		1	5(1)
東京工業大		1(1)		1	
東京商船大					2(1)
東京水産大					4(1)
東京学芸大		1(1)			8(3)
東京外国語大				1	3(3)
横浜国立大	1		3(2)	2(1)	7(3)
上越教育大			1		1
新潟大	1	3(1)			3(1)
金沢大	2(1)	1(1)			4(2)
山梨大		3(2)	1(1)	1(1)	1(1)
信州大			3(1)	4(1)	9(4)
岐阜大			1(1)		
静岡大	2(1)	5(3)	2(1)	3(1)	11(6)
名古屋大			1		4(2)
名古屋工業大	3	1	1	3(2)	11(3)
滋賀大	1(1)	1			2(2)
京都大				2(2)	5(3)
京都教育大	4	6(2)	4	6(1)	4
京都工業繊維大		1		2	1
大阪大			2(2)	4(2)	8(5)
大阪外国語大			1	2	5(1)
大阪教育大	1	2(1)	3(2)	6(2)	8(2)
神戸大			2(2)	2(1)	9(7)
神戸商船大			1	1	6(1)
兵庫教育大		1	2	1	4(1)
奈良教育大	3	1	2	2	2(1)
奈良女子大	2(1)		1	1	8(4)
鳥取大	1	2(1)		2	10(2)

島根大	1(1)	2(1)	1		2(1)
岡山大	11	14(2)	23(7)	22(7)	423(20)
広島大	14(2)	15(6)	13(2)	13(8)	48(7)
山口大	4(2)	4(3)	2(1)	1(1)	3(1)
徳島大	14(4)	27(13)	26(9)	18(6)	97(30)
鳴門教育大	8(5)	5(1)	8(2)	7	
香川大	69(10)	79(10)	83(7)	84(11)	524(120)
香川医科大	4(3)	1	1	2(1)	6(5)
愛媛大	9(4)	13(8)	14(10)	19(10)	44(10)
高知大	9(4)	23(6)	19(8)	13	27(8)
高知医科大					1(1)
福岡教育大				2(2)	
九州大	4(2)	3(2)	6(5)	3(1)	12(8)
九州工業大	2	1	7(4)	2(1)	3(1)
佐賀大	4(1)	4(2)		3(2)	3(2)
熊本大	2(1)		2(2)		6(1)
大分大	3(1)	4(4)	3(1)	4	5(1)
宮崎大	1	1			2
長崎大	1(1)		1(1)		1
鹿児島大	1		3(1)	2	3(1)
鹿屋体育大				2	1
その他	3(1)	3(1)	2		16(6)
計	199(57)	243(89)	259(91)	264(74)	1066(317)

公立大学

大学名	合格者数				
	2年	元年	63年	62年	55-61年
宮崎経済大		1(1)	2(2)	1	10(6)
東京都立大	1				1
都立科学技術大				1(1)	1(1)
横浜市立大			1		4(2)
金沢美術工芸大			1(1)		1(1)
都留文科大		4(2)	4(2)	2(2)	46(33)
静岡県立大		1(1)	1(1)	2(1)	4(2)
愛知県立大				1	
岐阜薬科大					5(3)
京都市立芸術大	1		1(1)		1
京都府立大	1(1)	1(1)			4(2)
大阪市立大		1(1)	1(1)	3(3)	3
大阪府立大	4(3)	1(1)	3(2)	2	13(9)
神戸市外国語大				1	3(1)
神戸商科大		1(1)	1(1)	1(1)	5(4)
広島女子大		1	1	1	1
下関市立大	5(3)	10(6)	4(3)	2(1)	11(5)
山口女子大	1	2	4		
高知女子大	1	8(2)	5	4	18
北九州大	3(1)	4		1	12(4)
その他	3(1)	2(1)			4(2)
計	20(9)	37(7)	29(10)	22(9)	147(75)

私立大学

大学名	合格者数				
	2年	元年	63年	62年	55-61年
酪農学園大	1			1(1)	3(2)
独協大				1(1)	3
文教大				2(1)	6(2)
千葉工業大		2(2)	4(3)		22(6)
青山学院大	2(1)	2	6(1)	11(7)	36(21)
大妻女子大					5(1)
学習院大	1	2(1)		3(2)	4(3)
北里大	2(1)	1	2(1)		2(1)
共立女子大				1	26(4)
国立音楽大					4(3)
慶応大	2(1)	2(1)	3(2)	2(1)	26(21)
工学院大		2(2)	4(3)	1	1
国学院大	1	1	1	3(1)	11(6)
国際基督教大		1(1)			3(3)
駒沢大	2(2)	1	3(3)	5(1)	11(7)
実践女子大		1	1(1)	3	18(1)
芝浦工業大		2(1)	2(2)	6(4)	44(29)
上智大			1	3(3)	12(10)
昭和女子大	5(2)	3(1)	5(1)	8	33(6)
成蹊大	1(1)		1(1)	1(1)	4(1)
成城大		1		3(2)	7(3)
聖心女子大		1			3
清泉女子大					2
専修大	5(5)	6(6)	6(3)	5(1)	45(18)
創価大		1		1	17(1)
大東文化大	5(1)	3(2)	1(1)	3	10(4)
玉川大	1(1)			1	6(2)
中央大	7(5)	4(2)	6(4)	8(5)	52(25)
津田塾大				1(1)	4(1)
東海大	3(2)	2	3(1)	6(3)	26(5)
東京経済大	4(1)		1		8(6)
東京女子大	4	2	1	1(1)	7(1)
東京電機大	1	5(5)	4(2)	6(5)	32(22)
東京農業大	4(3)	4(4)	2(2)	2	11(6)
東京薬科大			3(2)	1(1)	1(1)
東京理科大	4(2)	3(2)	9(8)	13(12)	57(30)
東洋大	4(4)	5(4)	6(4)	2	17(7)
日本大	12(7)	8(7)	18(14)	20(14)	79(33)
日本獣医畜産大	1	1(1)		1	2(1)
日本女子大	1(1)	2(1)		3	18(3)
日本体育大		1		1	6
法政大	1	7(6)	3	14(7)	54(22)
武蔵大					4(1)
武蔵工業大	1	2(1)	1	3(2)	15(10)
明治大	9(5)	5(4)	4(1)	14(7)	75(39)
明治学院大	5	3(3)	3(1)	12(10)	34(16)
明治薬科大			1(1)	1(1)	
立教大	2(1)	3(1)	4	8(6)	60(10)

早稲田大	1(1)	3(3)	3(1)	6(3)	47(32)
神奈川大	12(8)		3(2)	12(11)	33(8)
フェリス女子大					5
愛知大	1		2(2)		13(4)
中京大	3(2)		3(1)	1(1)	13(2)
南山大					2(2)
日本福祉大	1(1)		3(1)	2(1)	17(6)
名城大	8(1)	4(2)	4(3)	1(1)	14(7)
京都外国語大	4(1)	1	4	7	22(2)
京都産業大	15(5)	10(5)	21(7)	26(8)	104(42)
京都女子大	10(2)	7(1)	7(3)	11(4)	42(7)
京都薬科大	1(1)	2(2)	1(1)	2(1)	4(1)
同志社大	7(4)	10(8)	6(3)	9(5)	111(71)
同志社女子大	7(3)	2	3	1(1)	41(3)
ノートルダム女子大	2(1)	3		1	11
立命館大	11(2)	5(4)	21(11)	23(9)	162(92)
龍谷大	8(5)	3(2)	4(2)	3(2)	62(25)
大阪経済大	7(2)	3(1)	7(4)	5	51(25)
大阪工業大	9(5)	8(4)	10(7)	7(5)	95(29)
大阪樟蔭女子大					20(1)
大阪電気通信大	5(2)	14(6)	4(3)	3(2)	21(10)
大阪薬科大		1(1)			5(1)
関西大	17(6)	20(12)	23(12)	28(7)	110(54)
関西外国語大	4	1	1	4	25(6)
近畿大	14(2)	7(3)	5(2)	5(1)	63(10)
摂南大	17(6)	10(9)	6(4)	6(2)	15(8)
関西学院大	5(3)	7(7)	13(7)	14(12)	75(56)
甲南大	3(1)	9(4)	3(1)	5(3)	33(17)
中南女子大	1	4	3	2	20
神戸学院大	9(3)	8(3)	8(4)	5	59(17)
神戸女学院大	1		1	2	13(3)
神戸女子大	3	3(1)	2	8	7
神戸女子薬科大		1(1)		2(1)	4
松蔭女子学院大	2(1)	1	1	1	9
武庫川女子大	5(1)	3(1)		7	22
岡山理科大	12(3)	11(7)	6(1)	4(3)	23(5)
ノートルダム清心女子大	9(1)	9(1)	1	7(2)	15(3)
広島工業大	6(1)	8(3)	3(1)	1	11(4)
広島修道大	1(1)			1(1)	4(2)
徳島文理大	13(3)	9	5	3(1)	35(4)
四国学院大	32(2)	40(2)	44(4)	26(3)	135(16)
松山大	44(18)	33(14)	27(6)	15(6)	144(63)
西南学院大	2(2)		1	2	3
福岡大	1	4(1)	2(2)	1(1)	22(6)
その他	120(47)	64(24)	38(15)	32(10)	202(55)
計	523 (195)	418 (191)	408 (173)	482 (208)	2819 (1080)

国・公立短期大学

大 学 名	合 格 者 数				
	2年	元年	63年	62年	55-61年
信大医療技術短				1	2
京大医療技術短	1		1		1
鳥取大医療技術短	1(1)				
岡大医療技術短	1		1		
徳大工業短					1(1)
徳大医療技術短		3(1)	2(1)		
香大商業短	2(1)	3(2)	6(4)	6(3)	18(7)
愛媛大医技短			1		
九大医療技術短					2(1)
都立商科短		2			
岐阜女子短					1
静岡女子短					2(1)
富山県技短			1		
名古屋市保育短				1	
三重短			1		
滋賀県立短		1		1	
京都府立女子短	1		1		5(1)
姫路短					4
岡山県立短		3(1)		2(1)	5
倉敷市立短		1		1	
新見女子短	1(1)	2			
尾道短	2	2(2)	2	2(1)	4
福山市立女子短					2
高知女大保育短					1
計	9(3)	17(6)	16(5)	13(5)	47(11)

私立短期大学

大 学 名	合 格 者 数				
	2年	元年	63年	62年	55-61年
青山学院女子短		1		1(1)	7
大妻女子短		1	1		2(1)
学習院女子短	2(2)			3(1)	5
共立女子短				1	8
実践女子短		1	1(1)	3	11(1)
昭和女子短	3	2	1	1	16
東京女子短					7(1)
明治大短	1(1)				2
立教女学院短					1
上智短					1
フェリス女学院短				2(1)	1
京都外国語短	1				2(1)
京都女子大短	11	13(3)	18(2)	29(4)	95(1)
同志社女子短	4(1)	5	5	3(1)	4
平安女学院短		1	6(1)	3	32(1)
大阪女学院短					2
関西外国語短	5(1)	2	7	7	43(1)
甲南女子短	1(1)	2	2	2	8
神戸女子短		2	3	2	14
神戸山手女子短			1	2	7
松蔭女子短		2(1)	3	2	15(1)
武庫川女子短	9(2)	7	12	13(1)	34(1)
徳島文理大短	13	1	2	2	6
香川明善短					13
四国学院短	13	8	17	5	68
高松短	12(2)	10	2(1)	3	22(2)
その他	17(5)	16(1)	8	14	90(4)
計	92(15)	74(4)	89(5)	98(9)	518(19)

各種学校等

大 学 名	合 格 者 数				
	2年	元年	63年	62年	55-61年
防衛医科大学校					1(1)
防衛大学校	2(1)	1(1)	6(3)	5(5)	18(10)
航空自衛隊航海学生			1		
気象大学校					1(1)
海上保安大学校					2(2)
海上保安学校				1(1)	
航空保安大学校					2(2)
徳島大学医学部附属看護学校				1	2
国立普通寺病院附属看護学校	1	2	2	3	4
国立療養所高松病院看護学校		1		4	3
香川県看護専門学校	3	10	3	8	34(1)
高松赤十字看護専門学校	7(2)	7	4	7	18
香川県臨床検査専門学校		1	3		7(2)
香川県立保育専門学校	1	3	2	7(1)	26
穴吹情報ビジネス学院	1		4	3	
その他	5(1)	5(2)	3(1)	8(1)	60(6)
計	20(4)	30(3)	28(4)	47(8)	178(29)

(ロ) 公務員試験合格状況

区 分	合 格 者 数				
	2年	元年	63年	62年	55-61年
国家公務員採用Ⅲ種試験	1	2	1	14(2)	120(6)
香川県職員採用初級試験	1	1	1(1)		13(1)
高松市職員採用試験				2(1)	18
その他	1				18(2)
計	3	3	2(1)	16(3)	169(11)

(ハ) 就職状況

業 種 別	2年	元年	63年	62年	55-61年
建設業					1
製造業			2	3	24
運輸・通信業			1(1)		7
卸・小売業	1			1	3
金融・保険業	2	2		4	9
サービス業	2	5	2	1	13
公務	3	2	1(1)	5	52(1)
合計	8	9	6(2)	14	109(1)

(ニ) 主な就職先 (順不同)

会 社・官庁名	2年	元年	63年	62年	55-61年
香川県職員	1	1	1(1)		13
高松市役所				1	13
京都府警察官	1				
㈱セシール	1				
㈱大豊エンジニアリング	1				
㈱ソアテック		2		1	2
三菱電機㈱高松支店					3
四国電力		1			
日本銀行高松支店	1			1	1
三菱銀行		1		1	
富士銀行	1	1		1	1
山之内製薬㈱高松支店			1		1
NHK高松支局				1	1
高松市農業協同組合			1		1
その他	2	3	3(1)	7	73(1)
合計	8	9	6(2)	14	109(1)

かぜだより ～同窓会からのたより～

第十回西風会総会報告

安藤 祥二

(10期)

今回で十回目の西風会総会は会員皆様のご協力により八月十二日、高松グランドホテルにおいて開催することができました。今回の総会では昨年と比べ参加者数も増え、お忙しい中御出席して下さった先生方や西風会会員の皆様方にはとても感謝しております。

はやいもので一期生と一番若い十一期生とは十年ものへだたりがあります。なかなかうちとけにくいところがあったと思いますがそこは同じ学舎で通した者同士すぐに意気投合し、高校生活では味わえない先輩後輩として、昔の西高と今の西高、また久しぶりに会う先生を話のネタにしてなつかしい想い出話の花があちこちで咲いていたのではないかと思います。またそれだけではなく総会の後の懇親会でも毎年恒例になっているコーラス部OBによるすばらしい歌声(是非とも次回もお願いします)そして大ビンゴ大会など様々なイベントがありました。どれもこれも大盛り上がりでも楽しいものとなりました。

ここで西風会会員の方々の中で総会はかたっ苦しいところかと思いの方々、それは間違いです。言うなれば西風会総会というのは二部構成になっています。第一部は総会と呼ばれる部分で各先生方のお話、支部

報告、会計報告などのお堅いお話です。しかしながらこれらのものはすぐに終わってしまいます。やはりメインは、なつかしい先生方や同級生との交流の場となる懇親会です。最初ちょっとお話を聞いて我慢していれば、その後は、お楽しみがいっぱいというわけです。

西高を卒業してちりぢりになったみんなが唯一集まることができている問題がこの西風会総会なのです。毎年、スタッフの中で頭をかかえている問題が参加者の減少であります。(今回は盛りかえしましたがやはりそれでも少ない。参加者が少ないと来てくれない人もいますので)そのためにも皆様に毎年楽しく参加していただくような新しい雰囲気、斬新な企画の総会を目指して努力しております。それにはやはり皆さんの力も必要です。例えば総会ではこんなことをやってくれだとか、総会にはこの先生を呼んでくれなどというご要望を是非とも西風会のほうにいただけるととてもありがたいです。西高を卒業したみんなの西風会です。一緒にすばらしい西風会を育てていこうじゃありませんか。

最期に九期の乃村さんホテル手配からなにか本当にお世話になりました。それから総会実行委員のみなさん、その他の西風会役員のみなさんにはとても感謝しております。次回第十一回総会実行委員長になられる方、困まったことがあったら乃村さんを頼りにするといいでしよう。とてもいい方です。是非とも第十一回西風会総会も成功させてください。

'90 高松まつり総おどり参加報告

総踊り実行委員長

谷本

新吾

(10期)

昨年の夏もまた、我々西風会は、既に恒例行事となった高松まつり総おどりに参加しました。今回は新しく「瀬戸の都おどり」という踊りが加わり、「きちんと踊れるのだろうか。」という不安がありました。

当日、集まったのは約40人。数の上では少しさびしい人数です。かんじんの踊りはというと、あらかじめ練習していないこともたまたたて、曲が始まってもどこから踊りに入って良いのかわからない状態でした。それでも他のグループの踊りを見ているうちにわかってきて、10分もするとみんな踊れるようになっていました。それに、みんなしだいに大きな声も出すようになって、かなりの盛り上がりを見せるようになりました。最後の方になると高松高校の「よたろう連」と声をかけあがりして、気が付くと気持ち良い汗とともに音楽が終っていました。終ってみると2時間もあっという間で、本当に楽しく踊ったという感じでした。

僕としては、今回の盆おどり参加は成功だったと思います。ただ残念なのは、人数が少なく、また、飛び入りもほとんどなかった事です。

今年もまた、盆おどりに参加しますから、恥しいとかめんどろだなど考えずに、とにかく一度踊りに来てください。当日の飛び入りでも歓迎します。きっと見ているよりも踊る方が楽しいし、人数が増えるともっと楽しくなると思いますよ。最後になりますが昨年西風会の横断まくを作りました。この横断まくに負けないような踊りを今年はめざしたいと思います。



西高コーラス部OB会報告

香 西 謙 二

(10期)

西高コーラス部OB会夏の演奏会が平成2年8月12日に行なわれ、今回で8回目となりました。この夏の演奏会は西高コーラス部の部員が高校を卒業してからも歌を歌いたいということから始まりました。演奏会を開くために会場・練習場の確保、演奏曲・指揮者・伴奏者の選出、練習日程の計画など、いろいろな仕事をスタッフが分担して、開演できるように努力します。大学生がなにかと演奏会の中心なので会員が帰省してくる7月の下旬から盆前までの3週間足らずの短期間にたいいていこのことをします。この演奏会の中ではただ合唱曲を演奏するだけではなく、企画ステージでミュージカル風なものを演じています。OBだけが出演するのではなく、現役生ステージと、OB・現役生と一緒に演奏する合同ステージもあり、OB・現役生が一つになって演奏会を盛りあげています。

その他、会員の希望のもと、演奏会だけでなく、現役生とのソフトボール大会、他団体とのソフトボール対抗戦、またOB相互の交流も兼ねた新年会・新会員歓迎会、キャンプ等様々なことを行っています。



東京支部報告

東京支部長

池 亀 俊 哉

(1期)

西風会東京支部は、昭和五十五年、我々一期生の卒業と同時に設立された西風会支部中最も伝統を持つ支部であります。周知の様に東京には全国の大学の半数以上が集まり、また多くの企業が集中しているため東京支部会員も年々増加を続け現在会員、千名を越す大所帯となっております。

さて東京支部は、設立以来現在まで計五回の総会を行い、会を重ねるごとにその規模も大きくなり在京会員諸君の親睦の場として利用されております。しかし、残念ながら平成二年度には諸般の事情により支部総会を開会する事ができませんでした。この場をお借りしてお詫びいたします。

この様に着実に発展をとげてきた東京支部ではありますが、運営上いくつかの問題点ができました。まず、前述の様に支部会員のうち相当数が大学生会員のため、入学・卒業に伴い住所変更が多く確実な支部会員の掌握が困難である事や、また独自の予算がないため運営基盤が薄弱である事等であります。これらの問題点も西風会会長をはじめとする本部役員のみなさんの御理解・御協力により解消されつつありますが、今後東京支部としても独自の解決策を検討していかなばならないと考えます。また、会員各位の住所移動のさいの確実な西風会本部への通知もあわせてお願い致します。

はやいもので我々一期生は今年ついに「三十にして立つ」の歳となります。我等が母校も創立十五周年を迎え益々発展・充実の時期であります。これからも会員各位の発展と「変わらぬ友情」のため、東京支部を盛りたてるべく努力してまいりたいと思っておりますので尚一層の御指導御鞭撻をお願い致します。



昼 休 み

「香川支部長だより」

小柳 雅俊

(1期)

私が六期の岡田正人君から香川支部長を引き受けてからはや三年の歳月が流れました。この三年間、おもにそれぞれ、八・九・十期選出の役員の方々と協力して、総会開催・盆踊り参加、一・二・三期の選出の役員の方々と、会報の発刊という感じでやってきました。

昨年も、年始めに会長と年間計画の作成後、例年通り、入会式・代表代議員会・総会の開催・会報の発刊とやってきました。例年通りといっても、総会にしても会報にしても年々良くなっています。

このように、基礎固めはもうできておりますので、これからは、この基礎をもとに、上のせして、いい形に作りあげていきたいと思えます。

そのためには、これから私は、四・五・六・七期の方々に頑張るって積極的にやってももらえたらと考えています。また、一度役員をやった人も、一度きりでもう終わりで関わりがないというのでなく、これからのために、いま頑張っている委員の方々に協力して、総会の参加、西風会に対しての意見をどしどししてくれたいと思います。そうすることにより、香川支部の活動も活発になってくると思えます。

香川支部長として、以上の件、よろしく願います。

高松市役所支部「新西会」近況報告

新西会幹事

山下省吾

(2期)

高松市役所「新西会」は、今年も12名もの新入会員を迎えることができました。これで総勢57名になり、職種も事務職、技術職はもちろんのこと保母、保健婦、消防士と多方面で新西会の会員が活躍しています。

さて、近年、民間企業の好景気、人手不足を反映して公務員受験者が激減していますが、高松市役所も例外ではありません。確かに公務員は民間企業と比べると給料は高くありませんし、派手さもあまりなく、どちらかという土地な仕事だと思えます。しかし、公務員の仕事は住民福祉の向上と都市づくりが主たるものだと思います。そういう意味では公務員の仕事はその町のイメージをある程度決定づけると言っても過言ではないでしょう。このように考えると公務員の仕事もなかなかやりがいのあるものではないでしょうか。

高松市は昨年、市制施行100年を迎えました。そして、これからは国際化時代に対応した新しい都市づくりが求められています。これから就職を目指している西風会会員の方々。私たち新西会会員とともに新しい都市づくりに参加してみませんか。新西会会員一同心よりお待ちしております。

西風会平成二年度活動記録一覽

平成2年

8/12	7/29	7/21	6/10	5/13	月日	名 称	内 容
<p>第10回総会 於…高松グランドホテル7F 十八時〇〇分〜二十時〇〇分 会費…¥四、〇〇〇円</p>	<p>代表代議員会 於…不二の屋 十時〇〇分〜十二時〇〇分</p>	<p>総会・高松まつり参加 第3回実行委員会 於…不二の屋 十五時〇〇分〜十七時〇〇分</p>	<p>総会・高松まつり参加 第2回実行委員会 於…不二の屋 十時〇〇分〜十二時〇〇分</p>	<p>総会・高松まつり参加 第1回実行委員会 於…不二の屋 十時〇〇分〜十二時〇〇分</p>			<p>18名出席 ・11期生新代議員との対面 及び任命書授与 ・総会、高松まつり参加の実行 委員決定 総会実行委員長…安藤氏 盆踊り委員長…谷本氏 (共に10期生)</p>
<p>(53)名出席 ・元年度決算/2年度予算案 承認 懇談会、コーラス部友情出演 ※尚、当日昼間開催されたコーラ ス部90夏の演奏会に西風会が後 援した</p>	<p>17名出席 ・総会、盆踊り経過報告 ・総会会計報告準備 ・(元年度決算、2年度予算案) 2年度予定の再確認 ※尚、出席者全員に同窓会活動全般 に対し意見を求め、要約すると; I もっと西風会をPRしよう I 面白みを持とう I 役員の協力を促そう I 10、11期にも声を掛けよう</p>	<p>11名出席 ・内容再確認 総会…第9回にほぼ準じる 盆踊り…「瀬戸の都おどり」振 付け講習会に谷本氏参 加決定</p>	<p>11名出席 ・日時、準備、内容打ち合せ 総会…コーラス部の参加要請 盆踊り…「瀬戸の都おどり」に 対する準備</p>				

平成3年

3/7	2/24	2/17	2/3	1/20	12/2	11/18	10/28	8/14
<p>12期生入会式 於…西高体育館 12期生代議員対面式 於…大会議室</p>	<p>第6回会報2号作成委員会 於…不二の屋 十時〇〇分〜十二時〇〇分</p>	<p>代表代議員会 於…不二の屋 十時〇〇分〜十二時〇〇分</p>	<p>第5回会報2号作成委員会 於…不二の屋 十時〇〇分〜十二時〇〇分</p>	<p>第4回会報2号作成委員会 於…不二の屋 十時〇〇分〜十二時〇〇分</p>	<p>第3回会報2号作成委員会 於…不二の屋 十時〇〇分〜十二時〇〇分</p>	<p>第2回会報2号作成委員会 於…不二の屋 十時〇〇分〜十二時〇〇分</p>	<p>第1回会報2号作成委員会 於…不二の屋 十時〇〇分〜十二時〇〇分</p>	<p>第8回高松まつり参加 於…県図前十八時〇〇分集合 十九時〇〇分〜二十一時〇〇分</p>
<p>・任命書授与 ・同窓会の説明 ・理事、代表代議員選出 ・業務内容周知</p>	<p>(6)名出席 ・仮刷り確認後正式印刷依頼 ・発送について、担当と時期を検討</p>	<p>(10)名出席 ・会報完成前確認 ・決算・予算・事業計画(母校15 周年を考慮)</p>	<p>9名出席 ・仮刷り確認後(校正、レイアウト) ・第2版印刷依頼</p>	<p>9名出席 ・原稿回収・レイアウト ・印刷準備 ・スケジュール再確認</p>	<p>7名出席 ・原稿用紙および趣意書発送 ・概略レイアウト予想</p>	<p>10名出席 ・内容と担当を煮詰める ・スケジュール再確認</p>	<p>9名出席 記事執筆者1回収者1期限 (1/20/91)を決定 発送…6/末/91 同封物…年会費趣意書、振込用紙、 住所変更通知はがき、総会案内状</p>	<p>受付時48名参加 ・今年より「瀬戸の都おどり」 が導入された</p>

平成元年度 西風会会計決算報告書

取 入		支 出	
繰入(11年)	6,179,012	総会	333,165
越(生)入	955,100	会議	147,085
会期収会	111,079	通信	573,210
生入費	96,000	刷弔	605,234
会費	939,000	助備	85,300
		総会通印	258,000
		慶授	19,000
		予繰	6,259,197
合 計	8,280,191	合 計	8,280,191

平成2年度 西風会会計予算

取 入		支 出	
繰入(12期生)	6,259,197	総会	340,000
越(生)入	1,782,000	会議	150,000
会期収会	188,000	通信	850,000
生入費	1,000,000	刷弔	660,000
会費		助備	20,000
		総会通印	250,000
		慶授	40,000
		予繰	50,000
		事務担	6,869,197
合 計	9,229,197	合 計	9,229,197

さる、平成2年8月12日、高松グランドホテルにて開催された総会にて左記のとおり、平成元年度決算及び平成2年度予算が満場一致で可決承認されました。

平成元年度決算及び平成2年度予算報告

西風会会計 弾正原紀之

創立十五周年記念誌の発行準備進む

早いもので高松西高も今年の11月1日で創立十五周年を迎えることとなりました。それにあたり西高では記念事業の一環として記念誌の発行を予

定しています。既に昨年7月26日に今谷教頭先生を委員長とする創立十五周年記念誌編集委員会が設置され発行準備が進められています。創立五周年記念誌「躍動」と同様に写真を中心に西高の15年間の足跡をふりかえってみたいと思います。つきましては現在、資料となる写真等が不足しておりますので、卒業生の皆さんで写真等お持ちの方ありましたら西高(担当土居・多田)までご連絡下さい。ご協力よろしく願います。

創立十五周年記念誌の規格と内容の予定

- (一) 規格 A4版 アート紙 10ポ字 一〇〇ページ
- (二) 部数 三、〇〇〇部
- (三) 内容

- ① 口絵
 - ② 発行のことは
 - ③ 目次
 - ④ これが現在の西高です。…学校生活・行事・校舎
 - ⑤ これが西高の15年です。…年度毎の変遷写真集(校舎、部活のハライトシーン等)
 - ⑥ これが西高の想い出です。…記念随想(歴代校長、旧職員、卒業生等)
 - ⑦ これが西高の同窓会です。…組織・活動等
 - ⑧ これが西高のPTAです。…組織・PTA総会・委員会活動等
 - ⑨ これが西高の歴史です。…西高関連記事を年表形式でまとめる。
 - ⑩ 職員在職期間一覧
 - ⑪ 編集後記と奥付
- *前半50ページ(①~⑤)は写真中心として、後半50ページ(⑥以後)は活字中心とする。
- *販売価格は現在のところ未定です。

写真・資料等の送り先、問い合わせ先

〒七六一 高松市鬼無町山口二五七一

高松西高等学校

創立十五周年記念誌編集委員会

(土居又は多田まで)

TEL (〇八七八) 八二一六四一一

同窓会会報「西風」第三号に寄稿のお願い

「ももたろうだより」の中で、会員の方の近況をお知らせしておりますが会員間の結束をより強めるため、第三号においても引き続き、掲載を予定しております。

大学一年生、社会人一年生から後輩へのアドバイス、新婚さんから皆さんへのメッセージ、お父さん、お母さんになった会員の子育て日記などの身近な情報をお寄せ下さい。

また、部活動のOB会の活動状況について、PRでも、お知らせでも結構です。掲示板がわりに使っていただけ原稿も募集しております。

「西風」編集スタッフ募集

生まれたばかりのこの「西風」を会員の皆さんの開拓者精神で、育ててみませんか。

会員間における情報誌として、また、身近な掲示板がわりに・・・と様々な可能性を秘めている会報「西風」です。他の高校に負けないものに育てあげなければなりません。しかし、肝心の編集スタッフが不足しており思いのままにならない状態です。会員の皆さんの西高魂で助けてもらえませんか。

なお、寄稿並びにスタッフ募集についてのお問い合わせは

〒茨一 高松市鬼無町山口三番一 (電話〇八六一三二一四二)

西高内 同窓会係・多田まで

編集後記

讃岐平野に秋風が吹いていた頃から編集をはじめ、この「西風」第二号が会員の方々のもとへ届く頃には、野山のあちらこちらでまた違った花が咲いていることでしょう。

さて、「西風」第二号ということで、気楽に、皆様に喜んでいただけるような内容を目指しましたが、十分ではなかったかと反省しております。そして、母校、我が西高が飛躍しつつあるように、これから益々充実した会報を会員の方々にお届けするためにも、皆様のおたよりを、切に、お待ち申し上げます。

最後に、ご寄稿下さった方々、ご協力いただいた、先輩、作成委員の方々に、御礼申し上げます。

西風 2 号

平成三年三月七日発行

編集人 明石 享久 (3期)

発行人 上村 幸司 (3期)

発行所 西 風 会

印刷 石田印刷有限会社